

校長室だより（受験激励特別号）

義理と人情 GIRI-NIN

「義理」・・・人のふみおこなうべき正しい道。人の好意や信頼に報いようとする気持ち。
「人情」・・・思いやり。情け。人間が生まれつき備えている感情。

2023年3月1日 江別第一中学校長 鹿野 秀一

高校入試「敵は我に在り」己に勝つ！

いよいよ明日、一番受験者数の多い公立高校の入試が始まります。ほとんどの人はこの公立高校入試が本命となります。江別第一中学校受験生のみなさんには、是非とも笑顔で春を迎えて欲しいと心から願っています。

高校入試での戦う相手は周りの人たちではなく、自分自身、そう己（おのれ）です。自分の不安や弱気な気持ちに打ち勝つことから始まるのです。明日からの試験、健康状態を万全にして全ての力を発揮してきてください。先生方、在校生みんなまで応援しています。

受験生に贈る、8つの言葉

みなさんへのエールとして、8つの言葉を贈ります。この激励の言葉を噛み締めて、ラストスパート（今日1日）を走り抜けていってください。

1. 緊張しない人なんていない

この受験で夢に向かっての第一歩がスタートする。そして、この1年、入試当日に向かってがんばってきたわけですから、緊張しないわけがありません。無理に「緊張しちゃうダメだ」と思うのではなく、「緊張するものだ」と割り切ってしまう、緊張することに慣れてしまいましょう。気持ちが少し楽になります。

2. 不安はただの足かせ

何かひとつでも不安に感じると、あれもこれもと、心配事がどんどん増えていきます。でも、それはみんな同じです。不安を引きずっているようだと、本番で本当の実力を発揮できません。入学後の高校生活を想像して、前向きな気持ちで過ごしてください。振り返って悔やむのは、試験が終わってからでも遅くないのです。

3. 自分を支えられるのは自分だけ

合格するかどうかなんて、学校の先生にも、塾の講師にも、誰にもわかりません。自分の手でつかみ取るしかないのです。「どんなことがあっても合格する!」、そういう心構えで自分を支えてください。「自分が一番がんばってきたんだ」と思い込んでください。最後の最後に頼れるのは、自分自身です!

4. 足を止めずに、最後まで歩もう

今のがんばりが、将来の夢や目標を叶えることにつながります。ここまでがんばってこられたのも、叶えたい思いがあったからです。立ち止まっていたは何も始まりません。「何が何でも合格するぞ!」と思える人が、最後まではい上がっていきけるのです。

5. 人事を尽くして天命を待つ

「人事を尽くして天命を待つ」。できる努力をやり尽くしたら、後は運命に任せてただ待つのみ、という意味です。今みなさんがすべきなのは、入試に向けて勉強すること。合格通知を見てガッツポーズをしている姿を想像しながら、もう少しの間だけがんばってください。

6. 苦しい期間ももう終わり

長かった受験生活も、もうすぐ終わりです。これまで苦しいことがたくさんあったと思いますが、ここまできたら、あとは入試会場で力を尽くすだけ。いつもの自分を信じて、1点でも多く取るつもりで目の前の問題にぶつかっていきましょう。

7. 受験生活は人生の糧

受験生活に、無駄な努力なんてひとつもありません。これまでやってきた面接練習もそう。辛い経験や我慢の積み重ねは成長につながります。受験生活で得られるものは勉強の成果だけではない。絶対に今後の人生に役立ちますから、あきらめずに前へ進んでください。

8. あきらめなければ逆転できる!

何より大切なのは、あきらめないこと。「あきらめたら、そこで試合終了」何度も言われているかもしれませんが、最後まで結果はわかりません。1ミリでも、1%でも望みがある限り、最後まで全力で挑んでいくことです。